

**コンゴ(民)経済情勢
月例報告
2016年12月**

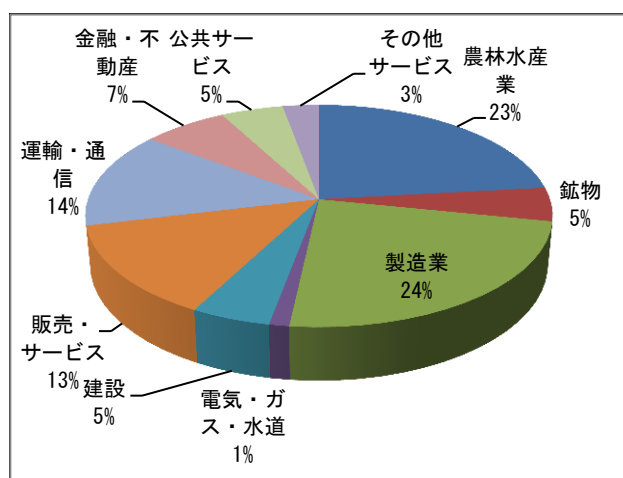
主な出来事

- コンゴ中央銀行(BCC)の支配下に入り、経営再建計画策定中のBIACであるが、事業の方向性を巡ってBCCと対立しており、BIACの主要株主は速やかな事業清算を求めてキンシャサ市商事裁判所に提訴した。一方BCCはBIACの売却の可能性を追求している。
- 2016年の国会の通常会期が12月15日に終了した。2017年の予算法案(総額47億ドル、前年比15.3%減)は、政治対話や政権移行など目下の政治状況の混乱により、審議に取りかかることができずに終わった。これを受け国会は特別会期を開き、2017年1月の仮予算の編成を承認した。
- BCCは4.3%としていた2016年の経済成長予測を2.5%と下方修正した。

	主なマクロ経済指標	2015年	2016年12月
1	人口(百万人)	74.88	-
2	失業率(%)	NA	-
3	実質GDP(百万ドル)	22,947.33	-
4	名目GDP(百万ドル)	37,393.23	-
5	一人当たりGDP(ドル)	524.16	-
6	GDP成長率(%)	6.9	-
7	インフレ率(%)	1.37	6.9%(2016年目標4.2%)
8	貿易収支(百万ドル)	550.89	-
9	輸出(百万ドル)	10,325.28	-
10	輸入(百万ドル)	9,774.54	-
11	対外直接投資(百万ドル)	498.13	-
12	対内直接投資(百万ドル)	918.00	-
13	外貨準備高(百万ドル)	1,405.06	881.30 (輸入4.00週間分)
14	対外債務残高(百万ドル)	NA	-
15	為替レート(対ドル)	925.99	1215.00
16	主要政策金利(現行、年利%)	2.00	7.00

(2015年データ出典:コンゴ(民)中央銀行(ただし人口のみ世銀2014年))

GDPセクター別構成比(2015年)



(出典: OECD African Economic Outlook 2015)

経済

1. 市場（鉱物・資源関係）

（1）銅価格：20%近く上昇

銅の市場価格が2ヶ月間で20%近く上昇した。ブルームバーグ社の専門家によると、コンゴ（民）の生産量停滞による供給不足が市場に反映した模様である。2016年のコンゴ（民）の銅生産はグレンコア社の操業停止以降、10%以上低下している。（21日付けRFI）

2. 市場（インフラ・農業・投資・金融などその他）

（1）BIAC：商事裁判所への提訴

経営再建計画策定中のBIACであるが、事業の方向性を巡ってBCCと対立しており、BIACの主要株主が速やかな事業清算を求めてキンシャサ市商事裁判所に提訴したことが判った。BCCはBIACの売却の可能性を追求している。（11月29日付け Media Congo など）

（2）ビール価格の上昇：ルブンバシ

12月に入りビール価格が高騰している。内貨安の影響によりインフレ率が上昇しており、1瓶1500CFから1,800~2,000CFへと約20%程の値上がりを記録している。（2日付け Radio Okapi など）

（3）4つの主要食品の値下げの発表と市場の不履行：キンシャサ

（ア）キンブタ・キンシャサ特別州知事およびコンゴ企業連盟（FEC）は、年末のホリデー・シーズンを控えたキンシャサの消費者のため、コメ・鶏肉・牛肉・アジなど高騰する4つの食品価格を18%引き下げることがを発表した。市場では、卸売りを始め各小売店が、4つの食品の価格低下を遵守するよう監視される。（7日付け Radio Okapi など）

（イ）先日発表された4つの主要食品の値下げであるが、市場ベースでは効力を発揮していない。市はTVAの還元などの政策を発表したが、実際の市場では監査者による調査が実施されていないがゆえ、市場は値下げを敢行していない。（26日付け mediacongo など）

（4）セメント工場：コンゴ中央州

バーネット・グループの総裁であるコンゴ人実業家ジャン＝バマニザ氏がコンゴ中央州にてセメント工場を稼働する。建設費は3億ドルにのぼり2017年中の稼働開始を予定している。（13日付け Jeune Afrique）

(5) 新セメント工場の稼働：コンゴ中央州

ベルテクスグループによる新しいセメント工場が操業を開始した。1日35トンの生産能力を有し、3000人の雇用を創出する。(28日付ACP)

3. 財政・マクロ経済・行政など

(1) アフリカ輸出入銀行：上院による承認

5日、コンゴ(民)のアフリカ輸出入銀行(Afreximbank)への加盟が上院で承認された。アフリカ輸出入銀行は1993年に創設されコンゴ(民)は2014年に加盟に署名していた。BCCは既に同行に3億ドルの口座を開設している。(5日付けRadio okapiなど)

(2) 国会の通常会期終了：2017年度予算案の持ち越し

2016年の国会の通常会期が12月15日に終了した。11月に2017年の予算法案(当館注：総額47億ドル、前年比15.3%減)がマタタ前首相により提出されていたが、政治対話や政権移行など目下の政治状況の混乱により、予算法案の審議に取り掛かることができずに終わった。右事情により、政府は2017年1月より、一般歳入からの仮予算で対応することになる。(15日付けLe Phareなど)

(3) 金融政策委員会(CPM)

9日、BCCにおいて金融政策委員会が催された。その中で2016年の経済成長率が予測値の4.3%を下回る見込みであることが発表された。インフレ率は6.9%を記録し、年間のインフレターゲットである4.2%を超えた。為替率は銀行間レートで4.7%、市中間レートで3.3%のフラン安を記録し、国庫収入は積算3,417億CFの赤字となった。(10日付けréférenceなど)

(4) 会計法案：上院通過

14日、上院は2015年の会計法案を承認した。予算動員率は歳入65.38%、歳出が68.22%であった。2015年は2,416億CFの赤字であった。(15日付けACPなど)

(5) 2017年度仮予算：特別国会

26日、2017年1月の仮予算法案が国会にて採択された。2016年予算の12分の1である約5.7億ドルである。(26日付RFIなど)

(6) バディバンガ首相：国会演説

バディバンガ新首相は国会信任の際の演説において、現在のコンゴ（民）の経済は困難な状況にあると述べた。具体的には世銀・IMFの財政支援プログラムの欠如、不十分なTVA改革、金利の上昇と資金供給の減少、特定ポストへの過剰な支出等の財政法違反などの経済危機を惹起していると述べた。

経済危機を引き起こしている原因として、経済構造の脆弱さ、経済の多様化の遅れ、農業などの労働集約型産業による雇用創出と成長の富の再分配などが高度成長の期間に是正されなかったとした。（23日付ACPなど）

（7） 2016年経済成長率：下方修正

コンゴ中央銀行（BCC）は4.3%としていた2016年の経済成長予測を2.5%と下方修正した。（28日付mediacongoなど）

4. 対外関係・その他

（1）世銀：インガダム1・2の整備事業支援

世銀は9日、コンゴ中央州のインガ1・2の整備事業のため、約5,000万ドルの支援を実施すると発表した。当事業により、水路・橋・車線などの建設及び浚渫機が供与され、キンシャサの電力網の改善に貢献する。（9日付けACP）

（2）開発協力の一時的中止：ドイツ・ベルギー・フランス・英国

今次の政情不安により、ドイツ・ベルギー・フランス・英国などの国際社会は、政治対話の合意がなされるまで開発協力に係る事業を一時的に中断すると発表した。（21日付けRFI）